



2025 年 10 月 23 日(木)
あいち航空ミュージアム
【指定管理者】
名古屋空港ビルディング株式会社
電話番号：0568-29-0283
(ミュージアム運営部直通)

あいち航空ミュージアムにおけるイベントの開催について 開館 8 周年特別企画展 「日本の飛行艇～その歴史と救難飛行艇 US-2 のすべて～」

あいち航空ミュージアムでは、開館 8 周年を記念して、特別企画展「日本の飛行艇～その歴史と救難飛行艇 US-2 のすべて～」を下記のとおり開催します。

海上での離着水が可能な飛行艇は、過酷な環境下での救難や離島支援など、他の航空機では代替困難な任務において重要な役割を果たしています。

本イベントでは、飛行艇に関する基礎知識や日本の飛行艇の歴史、現在国内で活躍する救難飛行艇 US-2 などについて詳しく紹介します。

御家族や御友人とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。

記

1 開催期間

2025 年 11 月 22 日(土)から 2026 年 3 月 9 日(月)まで

2 開催場所

1 階航空メッセプラザ

3 内容

(1) パネル等の展示

ア 飛行艇の基礎知識

「飛行艇と水上機との違いは?」「飛行艇のメリットは?」「現在の飛行艇の用途は?」など、航空ファンも案外知らない飛行艇の基礎知識を 8 枚の解説パネルで紹介します。

イ 国産飛行艇の開発史

かつて日本の技術者は傑作機として知られる二式大型飛行艇(二式大艇)など多くの飛行艇を開発し、現在でも国産の飛行艇が活躍しています。そんな日本飛行艇の歴史をイラストレーター リタイ屋の梅(りたいやのうめ)氏が描き下ろした珠玉のイラストを用いて解説します。

【イラストレータープロフィール】

1967 年生まれ。神奈川県在住。会社勤務の傍ら「昭和 30～40 年代の日本の航空」を中心に、航空機と乗り物のイラストを描き続けるイラストレーター。「リタイ屋の梅」のペンネームで発行している同人誌は、そこに描かれる航空機の絶妙なタッチと航空

に関する知識の正確さから航空マニアの間で高い評価を受けている。日本戦後史も研究中。

ウ 救難飛行艇US-2に詳しくなる

現在、世界最高クラスの性能を持つとされる海上自衛隊の救難飛行艇US-2。その開発秘話や性能、さらには詳細な製造工程や自衛隊での運用方法など、様々な切り口でUS-2の秘密に迫ります。

エ 資料・映像等展示

飛行艇に関する資料等を展示するとともに、US-2を運用している海上自衛隊第31 航空群と新明和工業株式会社から提供されたUS-2のめったに見られないレア映像を80インチの大画面モニターでご覧いただきます。また、現存する二式大艇の内部を含む貴重な写真を展示します。

(2) 講演

ア 第1回講演

救難飛行艇US-2を製造する新明和工業株式会社より、長年飛行艇の開発に携わってこられた鴨頭 健（かもがしら たけし）氏を講師にお招きし、大型飛行艇の傑作機でもあった二式大型飛行艇を設計・製造した川西航空機から受け継いだ大型飛行艇に関する技術や熱き想い等についてご講演いただきます。

- ・開催日時 2025年11月22日(土) 午後1時30分から午後2時30分まで
- ・講師 新明和工業株式会社 航空機事業部 技術本部 飛行艇技術部
部長 鴨頭 健 氏
- ・演 題 救難飛行艇US-2開発のすべて
～二式大艇から受け継がれた巧みな技術と熱き情熱～
- ・開催場所 1階フライングボックス横ステージ
- ・定 員 先着40名分の座席を御用意（立ち見も可）、事前申込不要

【講師プロフィール】

1967年大阪府生まれ。1988年に新明和工業株式会社に入社。入社後は同社航空機事業部にて、救難飛行艇およびボーイング製品の研究・開発に携わる。1995年から救難飛行艇US-1A改（現 救難飛行艇US-2）の開発に参画し、設計および各種試験を担当。岩国基地（山口県）で実施された飛行試験を含めて約10年間、救難飛行艇US-1A改の開発に従事。2011年に甲南本部 技術部長に就任し、各部署を経て2025年8月から、技術本部 飛行艇技術部の部長を務める。



鴨頭 健 氏

イ 第2回講演

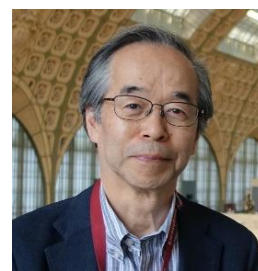
世界でこれまでにどのような飛行艇が開発されてきたのか、日本がそれらからどの

ような影響を受け、いかにして独自の開発を進めてきたのかについて、世界と日本における飛行艇開発の歴史を交えながら分かりやすく解説します。なお、この講演は他航空系博物館等連携プロジェクトとして、リモート講演でも開催します。

- ・開催日時 2025 年 11 月 23 日(日・祝) 午前 11 時から正午まで
- ・講師 東京大学名誉教授 未来ビジョン研究センター特任教授
鈴木 真二 (すずき しんじ) 氏 (あいち航空ミュージアム館長)
- ・演 題 世界と日本の飛行艇開発の歴史
- ・開催場所 1 階フライングボックス横ステージ
- ・定 員 先着 40 名分の座席を御用意 (立ち見も可)、事前申込不要

【講師プロフィール】

1953 年岐阜県生まれ。1979 年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。豊田中央研究所から、東京大学助教授を経て、大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授へ。2019 年から東京大学未来ビジョン研究センター特任教授並びに名誉教授を務める。2017 年 11 月 30 日の開館当初から、あいち航空ミュージアムの館長を務める。



鈴木 真二 氏

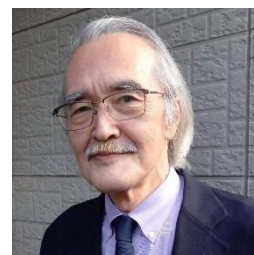
ウ トークショー

ナビゲーターに神野幸久 (じんの ゆきひさ) 氏、ゲストに岡部いさく (おかべ いさく) 氏を迎え、飛行艇・水上機の歴史や日本の技術が海外に与えた影響、そして大型飛行艇の系譜など、多彩な切り口から飛行艇の魅力を、専門的な話も交えつつ、初心者でも楽しめる軽快なトークでお届けします。飛行艇の世界を楽しく深掘りするスペシャルセッションです。なお、この講演は他航空系博物館等連携プロジェクトとして、リモート講演でも開催します。

- ・開催日時 2025 年 11 月 24 日(月・振休) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで
- ・出演者 ゲスト：作家 岡部 いさく 氏
進 行：「航空ファン」編集長 神野 幸久 氏
- ・演 題 黄金期から現代までを彩った飛行艇の傑作機&駄っ作機
- ・開催場所 1 階フライングボックス横ステージ
- ・定 員 先着 40 名分の座席を御用意 (立ち見も可)、事前申込不要

【出演者プロフィール】

1954 年、浦和市 (現さいたま市) 生まれ。学習院大学フランス文学科卒。航空雑誌、艦艇雑誌の編集員を経てフリーとなり、「世界の艦船」、「J シップス」などに寄稿。ネット配信番組の解説に出演。著書に『世界の駄っ作機』、『いさくの艦艇モデルノロヂオ』などがある。



岡部 いさく 氏

【出演者プロフィール】

1967 年千葉県生まれ。月刊誌『航空ファン』（文林堂）の編集長を 2022 年 10 月から務める。官（軍）民、宇宙まで幅広い航空ジャンルを歴史や技術論等多方面から網羅する『航空ファン』は 1952 年 11 月創刊。特に有名カメラマンによる世界の最新航空機のフォトリポートは定評があり、読者には写真や模型の愛好家のほか航空関連業界で働くプロフェッショナルも多い。



神野 幸久 氏

4 協力

海上自衛隊 第 31 航空群
海上自衛隊 鹿屋航空基地史料館
船の科学館
新明和工業株式会社
株式会社文林堂

5 後援

愛知県教育委員会

6 参加費

イベントの参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

7 イベントに関するお問合せ先

あいち航空ミュージアム
電話 0568-39-0283

<参考：あいち航空ミュージアムについて>

○施設概要

場 所：西春日井郡豊山町大字豊場(県営名古屋空港内)

電 話：0568-39-0283

設置日：2017 年 11 月 30 日

設置者：愛知県

指定管理者：名古屋空港ビルディング株式会社

開館時間：午前 10 時から午後 5 時まで(最終入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日：火曜日、水曜日(祝日、または振替休日の場合は翌日)

※11 月 25 日(火)、26 日(水)は開館

※11 月 20 日(木)、28 日(金)、

1 月 1 日(木・祝)、2 月 13 日(金)、19 日(木)、20 日(金)は休館



[あいち航空ミュージアム外観]

○入館料 ※未就学児は無料

区分	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	1,000 円	800 円	500 円
団体(20 人以上)	800 円	640 円	400 円
年間パスポート	4,500 円	3,500 円	2,000 円

○その他

- ・日にち、条件により貸切利用も可能です。
- ・あいち航空ミュージアムには専用の駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。

○Web ページ

<https://aichi-mof.com/>